

平成 29 年度第 3 回（163 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 29 年 9 月 25 日午前 10 時から

場 所：アミュービル4階 アイレック 会議室 1、2

出席者：後藤清、原弘美、中村京子、冨田ひろ子、戸口静江、小寺喜裕、小苺米清弘、加藤カツエ、阿部由紀子、有戸英明、奥澤礼子、景山剛治、菊谷多恵、木元祥恭、勅使河原功治、畑中卓純、石崎勇仁

事務局（市民協働係長、企画課主事）

欠席者：齊藤忠之、赤川都、浅見良子

<配布資料>

- 1 平成 29 年度第 3 回（第 163 回）清瀬市まちづくり委員会次第

1 開会

2 前回の確認

委員長：前回の議事要旨に関して意見等あるか。

委 員：議事要旨の件ではないが、要望として受けて、まちづくり委員会で審議していないものがあり、それをまとめたものの提出が事務局よりあると思っていたが、本日いただけるか。

事務局：今後、同様のケースがある場合、随時会議で報告する形だったと思う。

委 員：委員から提案することは可能か。

委員長：提案することは可能である。議事要旨について話を戻す。意見等無ければ了承でよいか。

<委員 了承>

3 提案の審議

委 員：今回の提案に関して、たまたま、提案者と話す機会があつて現状を説

明したが、提案者はこれ以上審議していただくのは恐縮で、取り下げも考えたいと話されていた。

- 委員長：その話は頭の片隅に入れておきながら、審議は進めていきたい。
- 委員：先ほど委員から、提案者から取り下げしたいと発言があった。これは考えないといけない。委員は団体の代表として意見が出ている。もし、辞退するのであれば、提案者から文章で取り下げの旨をまちづくり委員へ提出することになるかと思う。
- 委員：提案者から文面を出してもらった方がいい。
- 委員：まちづくり委員から審議した内容を渡す方法もあるのではないか。
- 委員：今回の提案は団体の意見として出されたものなのか。
- 委員：団体としての意見ではない。
- 委員：団体からまちづくり委員会には出てきているが、私の発言が団体の発言とは思っていない。
- 委員：問題はそこではない。本人はこの提案を取り下げしたいと思っている事が大事だ。
- 委員：この提案の審議が進んでいる。今回の提案された看板だけの話だけでなく、清瀬市全体に目を向けて、更に先の話しに進んでいる。提案者を取り下げしたいとは言っているが、議論を進めて行くべきだ。
- 委員：まちづくり委員会には一定の形式がある。提案者から提案があつてそれを審議するのが大前提である。提案者がいるのが、大前提である。この形式は従来から取ってきている。提案者を取り下げしたいと言っているなら、考える必要がある。
- 委員：提案者も取り下げたいと言っているので回答としたい。
- 委員：提言とするか、回答とするかを決めないと時間が過ぎてしまう。冒頭にどの様に進めていくかを決めて話し合いたいと思う。委員長はどう思うか。
- 委員長：回答にするかは審議を進めてから決めたいと思っている。
- 委員：確認だが、まちづくり委員会の1年間の計画は出ているのか。
- 委員：計画はない。出てきた提案に対して審議をしている。
- 委員：この提案をきっかけに景観に関する話し合いに持っていけたらよいと考える。審議も無駄にならないと思う。
- 委員：提案の最後に「なんらかの規制が合ってもいいのでは」とあるので、規制に関して話し合えないか。
- 委員：感性の問題もある。一概に回答だと言えないと思う。今日の会議で提言にするか回答にするか決めた方がいいと思う。
- 委員長：ここまでの話し合いで、回答なのか提言なのかを決めて進めていきたいと発言があった。また、提案者から取り下げの文面を出してもら

という意見もあった。

委員：「何らかの規制があってもいいのでは」と提案に書いてあるので、規制は難しいなどの回答を出してもらった方が、提案者から取り下げの文面を出すよりはいいと思う。私は回答にしたいと思う。

委員：環境問題、景観問題などを含めて進めていくということで話が進んでいると思っていた。アクションを起こさないとダメだ。

委員長：議事要旨に「提言にするか回答にするかは議事をもう少し進めてから決めたい」とあるように審議を進めてから決めたい。

委員：委員長の言う通りだと思う。議事要旨の先の議論をしないといけない。提案者より取り下げの発言があったが、議論を進めるか確認した方がいい。

委員長：取り下げという発言があったが、それは一つの意見として進めていきたいと思う。

委員：この提案から景観条例の話にまで進んでいる。提言にするか回答にするかを議論した方がいい。

委員長：では、このまま進めていきたいと思うがいかがか。

<委員 了承>

委員長：景観に関するまちづくりについて話しを進め提言にするか、回答にするかを決めたい。

委員：議事要旨の先の議論をしたいと思う。議事要旨に「規制できないか」と提案にある。法律での規制はできない。景観条例は無いが市の条例などで法的根拠を求められるかという議論をする必要がある。もし、法的根拠を求められなかったら、両者と話し合いができるかどうかとなる。また、景観条例について、市に進言できるかできないかも重要になってくる。

委員：景観指針を策定すると長期総合計画に書いてあるが、担当部署での進捗をお聞きしたい。

事務局：確認する。

委員：推進します。とあるので、具体的な事は進んでいないと思う。景観指針をプッシュするような提言でもいいと思う。

委員：賛成である。指針は何度も出ている。プッシュできるような内容で提言できる。「景観条例検討委員会」を組織してほしいとも言えると思う。

委員：景観条例を策定してほしいと市長へ伝えるのが必要である。

委員：清瀬市が景観として守ってほしいところなどがあると思う。まちづくり委員として、どの様な景観にしたいかをまとめた方がいいと思う。

委員長：条例化するにはグランドデザインを明確にする必要があると発言があ

った。確認だが景観条例以外の条例は何かあるか。

事務局：住環境の整備に関する条例がある。

委員：仮に景観条例を作るとして、東京都としての前提がある。更に見ると国の条例もある。都を優先するのか、国を優先するのか、清瀬市の考え方を優先するのか。

委員長：そこも踏まえて検討していく必要があると思う。

委員：市民感覚の議論が必要である。理想は追い求めるが一般市民の感覚で議論するのが必要である。

委員長：まちづくり委員に専門委員を呼べると思う。

委員：ランドデザインは行政が示すものである。審議を進めるうちに細かい話になっていく。

事務局：確認したいが、景観条例を作るという提言ということか。

委員長：そのように話は進んでいる。

事務局：景観条例を作ってほしいというだけでは提言として難しいと思う。

委員：そのために委員で議論をしていき、提言の形にできると思う。

事務局：今年度からの委員には提言書を渡していない。参考に次回の会議で昨年の提言書を配布したい。

委員：指針が出ているのに、進んでいない事に対する提言をするのはいかがか。

委員：他の市の景観条例に関して調べてくるのはいかがか。

委員：清瀬に類似するような資料を出してほしい。

事務局：調べて次回の会議で持っていく。各委員でも探してほしい。

委員：清瀬市には景観条例は無いが、既存の条例の中に法的な根拠を求める事ができるか確認してほしい。

<事務局 了承>

委員長：景観に関して各委員から一言発言願う。

委員：景観は見た目や色だけでなく、音も入ってくる。そこも議論の対象になると思う。「景観条例」を作る事はいいと思うが、それを作ること、清瀬市がやっ払いこうとすることが制限される可能性がある事が気になる。

委員：清瀬市全体にとって景観は何がいいのかを知りたい。

委員：「景観」だけだと自然を想像するが、住むにあたっては便利さを求める。その辺を考慮した景観を話していきたい。

委員：街灯が切れているところがあったが、1週間かかってやっと治った。市はどこまで管理できているのかを確認したい。

委員：市報に子育ての母に関する記事を見た。そこに清瀬を選んだ理由に「緑が多い」とあった。

- 委員：清瀬は病院のまちで緑が多い。清瀬の緑の環境は残しておきたい。
- 委員：清瀬の自然が減ってきてはいると思う。しっかりした景観条例ができたらいと思う。建築条例があるのか、私の家の周りは3階以上が建てられない。
- 委員：けやきロードのために「景観」を規制することは良いと思う。乱立による「まち」の形を失うのが心配。
- 委員：20年以上たったら、仕事の無い世の中がやってくると言われている。電車も自動運転になると思う。ネットショッピングが広がり、店舗が無くなっていくと思う。その時には既存の店舗を苦しめる事になってしまうのかもしれない。10年後、20年後にも残せるようなまちづくりをしたい。
- 委員：南口は病院があるので、自然が残ると思う。いくつか国が指定した場所に自然が残ると思う。また、ネット社会でも生き残る店舗はあると思う。
- 委員：自然は手入れをしないと、その自然を保てない。土地の問題もあるし、自然の手入れの問題もある。
- 委員：清瀬の地域社会は小さい社会である。行政、市民、企業の3者でまちづくりができないかを考えている。3者を連携して考えている。
- 委員：身近な景観が変わっている。しかし、保存林はいつまでも残してほしい。
- 委員：まちづくり委員は敬意のあるものにしていきたい。
- 委員：子育て支援のまち、緑が多いまちを大切にしたい。
- 委員長：緑のある清瀬のよいまちづくりを進めていきたい。

<次回は10月23日(月)、10時よりアイレックで開催。>